## (仮称) 田尻町総合文化センター基本構想(案)に対するご意見・ご提案の概要と町の考え方について

- ○実施期間 令和3年3月22日から31日まで
- ○意見提出者数 3名(個人2件、団体1件)
- ○備考
  - 1. 意見概要の文書は、原則原文のままとしていますが、一部改行等の変更を加えています。
  - 2. お一人の意見で複数の内容にわたる場合は、分けて提示させていただいている場合があります。
  - 3. 次の表中「(仮称)田尻町総合文化センター」は「総合文化センター」と表記させていただきます。

No	意見概要	町の考え方
1	の既存施設利用者から『新施設整備後も旧施設も残しダブル管理をして欲しい。』と言う要望が上がるのが常です。	現在の公民館の機能については、全て総合文化センターに移転することとしており、同施設に公民館機能も含め、本町における文化芸術事業、生涯学習、図書機能などの機能を集約し、拠点施設の実現を図っていきます。よって、「公民館機能」については廃止ではなく「機能の移転」を予定しています。また、「現公民館建物の再利用又は解体を検討する」ことについては、本町が所有する他の公共施設についても老朽化が進み再整備又は改修等の検討を行う必要がある事から、現公民館「建物」を改修等を行い、機能を「現公民館建物」に移転する、又は改修・維持管理費用を検討し、効率的でないと判断した場合は「現公民館建物」の解体を行うこと、について検討させていただくものです。よって、総合文化センター整備後も現公民館建物に公民館機能を残すことは予定していません。
2	未来志向から意見を述べさせていただきます。P26左下【主な機能の方向性】に「(前略)様々な活動に対して体験、学習、発見、発信が行え、(後略)」とありますが、「様々な活動に対して新しいカタチの体験、学習、発見、発信が行え、(後略)」と『新しいカタチの』という表現を入れてはいかがでしょうか。 <理由> 全ての回答を足して平均化するようなアンケートや、年齢層の高いワークショップを行えば行うほど、尖った部分のない従来型の整備方針が導き出されてしまいます。例えば、今回の基本構想(案)の中にはこれからの社会構造の常識となるような重要なキーワード(「SDGs」、「DX」、「新しい生活様式」、「レジリエンス」等)が出て来ていません。これからの社会はこれまでの延長線上にはありません。例えば、2040年には車は空を飛び、人口ひとりあたり1000台の常時インターネットに接続されているデバイスを所有する時代が到来すると言われています。ぜひ事務局側では「2040年の社会がどのようになっているか。」と言う想像力を働かせ、住民の皆様がワクワクするような未来志向の基本計画を今後ご検討いただきたいです。	

基本構想の施策・大綱を拝読させていただきましたが、牛涯学習の重要性や住民の文化芸術活動の促進を行い、新たな 駅上広場は、地域コミュニティ活動及び多様な交流の機会の場、児童の遊び場の確保を設置目的としており、スポー 文化の創造につなげていくことと定められており、どれをとっても地域住民にとっては必要なことだと感じました。 ┃ツ活動の場を主たる目的としていません。現在、駅上広場は、週2回、地域の児童の皆さんを中心にスポーツ活動に利用 一方で、地域の少年・少女がスポーツを通じて、心身ともに健やかに成長するための活動の場としている駅上広場につ<mark>「</mark>いただいているところですが、ネット・フェンスの高さが十分でないこともあり、フライ(飛球)となるようなバッティ ング練習などの活動を行うには十分な機能を備えたものではないことから、多目的グラウンド(屋外グラウンド)や学校 いて、代替地を検討する等、何の根拠もなく無くされてしまう方向性で動いていることは、非常に残念でなりません。 「文化|や「芸術|も大事と思いますが、「スポーツ活動|や「未来ある少年・少女の育成|についても、優劣をつけ 開放による運動場の利用をお願いしたいと考えています。 得難く大切なものであると考えます。 また、本町においては、運動や健康づくりの場としては、潮風グラウンドやシーサイドドームを、子どもから高齢者ま 一般開放や他のスポーツ団体との兼ね合いで時間を確保できない、非営利団体であるがゆえの金銭的な問題もありま 「で多様な世代の憩いの場、集いの場として、田尻交流広場やたじりっち広場を設け、様々な目的に応じた施設を整備させ ていただいています。 学校やグラウンドの使用に関しても、小学生よりも中学生のクラブが優先利用というかたちになります。 昨今の社会情勢を鑑みますと、ボール遊び一つできないような社会となりつつあり、ゲームやスマホ遊びで友達と家の 中で過ごすという子どもが増え続けております。 これらは、一種の社会現象としてマスコミ等で報道されているという一面もございます。 何とか、健全な少年・少女育成を育む場所の一つとして、駅上広場を「無くさない」あるいは「同等の代替地を確保す る | 等の検討を頂くことを提言します。 「公民館」「ふれ愛センター」「愛ランドハウス」の3施設の利用形態の棲み分けや連携、視点が変わりますが、公民┃ 総合文化センターは、部屋の貸館を目的とはしておらず、文化の発信拠点として、交流事業、イベントの実施、活動成 館同様に老朽化が進んでいる「中学校」と「小学校」の分離や建替え等、多角的に検討して頂きたいと思います。 果の発表の場、講座の実施を通じて生涯学習の機会の提供などを積極的に展開していきたいと考えています。 ※利用者属性をみますと、多くの利用者は小さい部屋を利用される事が多いようですので、ふれ愛センター内の部屋や┃ なお、ふれ愛センターは、健康の保持及び増進を図り、町民の自主的な保健活動と、各種の福祉サービスを提供するこ とを設置目的とし、整備された施設ですので、(仮称)田尻町総合文化センターとは設置目的、用途も異なり、重複しま 愛ランドハウス内の部屋を代用できないのか・・・ 大ホールを利用されることを希望される方へは、中学校体育館の建替えを通して連携運用を検討できないのか・・・ せん。また、愛ランドハウス(田尻歴史館)は、大阪府指定文化財の登録を受けていることからその利用に当たって制約 ■等、端的に考えてもきちんと検討していかなければならないことは、非常に沢山あると思います。 があることから総合文化センター機能の代替とは考えていません。 中学校体育館は、耐震補強工事を終え、現在は空調設備工事を進めているところであり、更新は予定していません。ま た、同施設は、学校教育施設として授業、クラブ活動、そして学校行事で使用することを前提としていること、既に学校 の活動に支障のない時間において、学校開放として住民のスポーツ活動、レクリェーションとして利用いただいているこ とから、総合文化センターに求める機能、ニーズを満たすことは難しいと考えます。 基本構想の中では、移設地を防災拠点とすることも検討されており、近年の日本国における災害発生状況を考えると、 📗 新たに整備する公共施設として当然に防災設備、災害時の避難者の受入れ等の機能も含め、検討が必要となりますが、 防災設備や拠点を整備することも地域住民にとっては必要な施設であることは感じておりますが、何卒、幅広に熟慮され|駅上広場は、本町地域防災計画において指定緊急避難場所に指定されており、災害時においては、避難を必要とする住民 を臨時に受け入れることのできる指定避難所の整備が求められていることから、(仮称)田尻町総合文化センターに防災 たご検討をお願い致します。 面の目的が確保できるよう必要な機能の整備を図っていくものです。 最後になりますが、今回の意見募集の機会は、私どものような駅上広場の利用者に対しては、全く知らされない状況 基本構想の整理に時間を要したため、意見募集の期間が限られた期間となりました。 で、町のHPにて3/22~3/31と非常に短い期間で募集を行っておりました。 この基本構想については、4月22日から24日までの間に開催します町政懇談会の場でもご意見等をいただく機会を設け たまたま3/25にHPを閲覧したため、情報を知り得たかたちではありますが、あまりにも不公平に欠け、利用者の思い ↓たいと考えています。 を軽視した残念な方法であると感じております。 また、令和3年度に(仮称)田尻町総合文化センター基本計画の策定に当たり、住民、利用者の皆さまのご意見をいた たかだか数十人の小さな団体の声ではありますが、地域の少年少女の人間力を高めていこうと、日々真剣に活動に取り┃だくこととしていますので、よろしくお願いします。 組んでおります。 役人の方々も業務の多様化により、沢山のお仕事を抱えられ、日夜ご苦労をされていることだろうとは思いますが、少 しばかりご配慮頂ければ有難いなと思います。

7	「多目的」という語の意味するところについて どのような大ホールが望まれているのかについての対応について、「多目的ホール」という語が多用されていますが、 多目的という語では、どのようにも対応可能な設備というだけで、一体どの様な形態のホールを建設するのかが一切分かりません。 音楽ホールかコンサートホールか映画上映か単なる大型集会場か集団で体操をするのかにより、床の構造を平らにする のか傾斜させるのか、や、固定座席か折り畳みパイプ椅子を並べるのか、それらを皆、多目的と言って一括りにすること は不可能です。 つまり、目的は絞らなければ、いずれも達成はできません。 多目的と言う語で、あいまいなまま構想を纏めないでいると、結果的にいい建物はできないと思います。	なお、多様な用途の範囲、用途に合わせた機能の範囲については、令和3年度に(仮称)田尻町総合文化センターのより具体的な内容を検討する基本計画の策定において、施設の設備、機能、規模などについて引続き、住民、利用者の意見を聞きながら定めていくこととします。
8	構想②案、または 構想⑤案が適当と考えますが、ここで構想①、②案に、れっきとした町有地である、現公民館の隣地(公式には浜第2公園、地目は宅地)を公民館の拡張のために使うという案が取り入れられていない点では不思議に思えます。 用地が町に寄贈されてから15年間、町は公園として充分整備してきませんでした。この際、公民館がもし改築されるのなら、当然新構想にとりいれられてしかるべきと思います。	から、(仮称)田尻町総合文化センター基本構想における施設検討案において整備用地に組入れた検討は行っていません。
9	図書館の整備に関する要望が意外に多いことに驚きましたが、勿論大変結構なながれと思います。最近の図書館設置の考え方の一つに、市民がひろく利用しやすいように、また公共性を重視するあらわれとして、地理的な利便性をとくに重視する傾向がハッキリしてきました。 この意味では ⑤案に加えて、駅上敷地には、大ホールと付属設備に加え、図書館を組み合わせ、市民活動施設や小ホール、講義室などは、むしろ現公民館敷地に収容することが適当と考えます。	設を管理することなるため維持管理費を含め、整備後の負担が大きくなってしまいます。
10		・ 全体の体裁を「横置き」から「縦置き」に変更し、1頁当たりの記載量を2頁に分割し、見やすくしました。 ・ 「2-4.類似施設の把握」について、掲載する類似施設の範囲に「忠岡町」、「阪南市」、「岬町」の施設を加えました。 ・ 「3.住民意向の把握」のアンケート結果委に集計結果の表を追加し、それぞれの回答に対する割合を表示しました。 ・ その他誤字等の修正を行いました。